

令和2年度事業報告

自：令和2年4月1日 至：令和3年3月31日

【1】令和2年度一般経過報告

本会は超高齢社会の中で、創立86年、公益社団法人として認可を受けて満8年を経た歴史と伝統の重みを活かし、人生100年時代に相応しい健全で充実した法人運営をはかるべく取り組んでまいりました。

然るに、年初来世界的に蔓延した新型コロナウイルス感染症の拡大により、かつて経験の無い大きな打撃を受けることになり、あらゆる活動が制約されました。人々の生活様式も一変し、安全安心を最優先することから、令和2年度の各事業につきましても止む無く中止・延期したものもあり、残念ながら十分な事業運営が出来ずに終わりました。

- ① 新型コロナウイルス感染拡大防止対策については、公益法人としての社会的使命を図るべく、内閣府並びに大阪府の指導指針に則り、万全を期して参りました。「吟詩日本夏季特別号」を全国会員に無料配布し、「三密回避」を徹底するとともに、事業計画についても見直しをし、出来る事業、出来ない事業とメリハリをつけ運営しました。
- ② 今後のコロナ禍の長期化を予想し、ウイズコロナを念頭に入れて、リモート会議・リモート研修会など、新しい形態も取り入れながら開催してきました。
- ③ 本部と地区連合会・各会との諸課題の共有については、地区連合会役員の方、各会の会長先生、代議員の方と意見交換を企画したが、意図した通りの実施が出来ず、ホームページ及び本部通信の発信を主体に意思の疎通を図った。8月には「三密回避・三ない運動」など具体的対応を含めた方針を発信した。

【2】重点施策の結果

1. 会員増員対策

- ① 「第3次増員対策委員会」を立ち上げ8月に答申を得た。

地道に「ひとり一声」運動の展開を図ると同時に、ホームページやユーチューブ・SNSによる普及活動を行う。

- ② 若者対策として、祖父母・父母が子供・孫を指導し、その仲間づくりを行う。
- ③ 学生会員対策として、小・中学生を 500 円、高校生以上の学生会員を通常の半額会費とし、準会員としてカウントした。
- ④ 高齢者対策の一環として、師範以上の会員で 90 歳以上の方については、その会費を半額とした。
- ⑤ 各地区での吟詠普及推進事業、全国 3 地区で実施、771 人（内一般会員他 200 人）の参加を得た。
- ⑥ 再入会促進キャンペーンの継続実施により、61 人の入会を得た。
- ⑦ 東明未来塾：新指導者養成講座として、本部コース（第 6 期）・東海コース（第 5 期）を開講し、総数 87 人が終了した。

2. 定年問題・会員制度の改定

- ① 「定年問題検討委員会」を立ち上げ議論を重ね、「細則」・「規程」の見直しを行い理事会の承認後、各地区での説明会を行い、「第 9 回総会」で承認を得た。
- ② 75 歳定年の撤廃を柱とする新定年制度は単に定年延長ではなく、より有能な人材を登用することを目的とし、付帯条件を設けた。
- ③ 役員自らが「業務診断表」を作成自己評価。これは理事選考時の客観的判断材料にする補助資料として活用するものである。
- ④ 会員制度改訂では、小学生以上を準会員とし、将来正会員としての活躍を期待するようにした。

3. 局部制の一層の充実

「指導局」「管理局」「広報局」それぞれが、重点課題・目標に向かって効率よく実施された。

会員数は令和 3 年 3 月末現在 9,146 人となり、△1,006 人（△9.9%）の減となりました。

新入会者数 425 人（再入会者含む）に対し、退会者が 1,431 人でした。

令和2年度 事業報告

自：令和2年4月1日 至：令和3年3月31日

1. 公益目的事業

本会は、詩歌吟詠をより多くの人々に普及する為に、次の事業を行った。

公益目的1 伝統芸能である詩歌吟詠の普及推進事業

(1) 吟詠普及推進吟詠大会（一般来聴公募）

関西吟詩の優れた吟詠を披露し、吟詠のすばらしさを、広く不特定多数の方々に紹介し、吟詠の普及を図る。又、地区事情に合わせて、新指導者の研修に取り組んだ。但し、令和2年度は新型コロナウイルス感染症蔓延により、多くの事業が中止又は延期となった。

- ① 2020 全国吟詠大会 in 大阪・・・・・・・・・・【新型コロナ感染防止のため中止】
・令和2年10月18日（日） 大東市総合文化会館サーティホール
約1,100人参加予定（内一般会員他300人）

- ② 新春吟詠大会・・・・・・・・・・・・・・・・・・【新型コロナ感染防止のため中止】
・令和3年1月10日（日） 太閤園ダイヤモンドホール
約250人参加予定（内一般会員他30人）

- ③ 吟詠普及推進研修会兼吟詠大会（一般来聴公募）
研修会と共に関西吟詩の優秀吟者による吟詠披露を行い、不特定多数の方々に吟詠鑑賞を頂いた。但し、多くの大会が中止又は延期となった。

- ・吟詠普及研修会兼推薦師範講習会・・・・・・・・・・【新型コロナ感染防止のため中止】
推薦師範者はテーマ「指導者としての心構え」の作文提出とした。
・令和2年6月14日（日） エーリック
約250人参加予定（内一般会員他100人）

- ・九州大会 令和2年7月26日（日）・・・・【新型コロナ感染防止のため中止】
・岡山大会 令和2年8月30日（日） 142人参加（内一般会員他40人）
・京滋福井大会 令和3年2月14日（日）・・・・【次年度6月以降に延期】
・東海大会 令和3年2月21日（日）・・・・【新型コロナ感染防止のため中止】
・和歌山大会・・・・・・・・・・・・・・・・・・【新型コロナ感染防止のため中止】
・四国大会 令和3年2月23日（祝）・・・・【新型コロナ感染防止のため中止】
・西中国大会 令和3年3月20日（祝） 249人参加（内一般会員他70人）

(2) 周年記念大会

- ① 総本部：創立90周年を令和5年に控え、記念誌作成準備委員会を立ち上げた。
② 地区連合会：周年大会
・滋賀県連合会 令和2年10月18日 【新型コロナ感染防止のため中止】
・和歌山県連合会 令和2年11月29日 【新型コロナ感染防止のため中止】
③ 各公認団体等の記念大会等への後援を行った。

- ・広島連合 令和3年3月7日 第50回記念競吟詩大会
- (3) 吟詠普及啓発活動を新型コロナウイルス感染防止対策を策定し行った。
 - ① 青少年及び教育関係等に対する講師の派遣。
 - ・小中学での課外授業への積極的参加
 - ・公認会などでの青少年詩吟教室開催への講師の派遣
 - ・幼児、児童、生徒（義務教育）向け教本の提供
 - ② 福祉施設・地域公民館活動に於ける吟詠普及活動の推進。
 - ③ 他の文化団体とのコラボレーションへの積極的参加。
 - ④ 路上ライブなどへの積極的参加。・・・【新型コロナ感染防止のため中止】
- (4) 吟詠普及啓発活動助成事業
規約に則り助成を行った。
- (5) 全国青年部吟詠大会（一般来聴公募）・・・【新型コロナ感染防止のため中止】
青年部主導で青年部員吟詠、幼少年吟詠、役員吟詠、他流優秀吟者吟詠、関西吟詩優秀吟者吟詠、青年部による構成吟の発表で詩歌吟詠の普及と伝承を図る。
令和2年5月31日（日）クレオ大阪東
予定参加者 約400人（内一般会員他150人）
- (6) 電磁的公報、機関誌発行
 - ①吟詠普及の為のユーチューブ配信の検討
ユーチューブを通じての吟詠推進活動の実施計画をたて、継続して不特定多数の人に詩吟をアピールする取り組みを行った。
 - ②ホームページでの吟詠普及
 - ・ホームページ画面の改良の実施（スマホ対応）
より見易くする為、案内表示の改善検討を行った。
教場紹介コーナー設置の検索システム検討を行った。
 - ・漢詩紹介・吟詠コーナー・動画コーナーの拡充を行った。
 - ・若年層向けコーナーを設置して幼少年・青年部の活動を紹介した。
 - ③ 機関誌「吟詩日本」を発行（一般販売）
 - ・時代に即応できるよう改善実施を行った。
 - ・漢詩和歌の紹介、作詩法、応募の自作詩の掲載を行った。
 - ・「吟詩日本」（189号、190号、191号、192号）の発行を行った。
- (7) 教本発行（一般販売）
 - ① 教本冊子頒布
 - ・新教本初級編他（既刊教本）の頒布を行った。
 - ・新教本Bその1（新刊教本）の頒布を行った。
 - ② 「新教本Bその2」の編集・校正を行った。
- (8) 海外移動教室の開講・・・・・・・・・・・・・・・・・・【新型コロナ感染防止のため中止】
「中国漢詩紀行」の開講を中止した。
- (9) 国内移動教室の開講・・・・・・・・・・・・・・・・・・【新型コロナ感染防止のため中止】

(10) 災害復興支援活動の実施

- ・「令和2年7月豪雨災害義援金」の募金活動を行った。
- ・災害復興義援金の募集活動継続実施した。(イベント毎に実施)

公益目的2 詩歌吟詠の技能向上を図り継承発展に寄与する事業

(1) 競吟大会を実施した。(一般来聴歓迎)

① 全国新人中間層競吟大会 エーリック(尼崎)

令和2年11月8日(日) 参加者450人 出吟者179人

② 全国準師範師範代・指導者級吟士権大会 現代劇場(高槻)

令和2年12月6日(日) 参加者550人 出吟者280人

③ 全国競吟大会予選大会

兵庫地区・岡山地区は予選大会を実施、次の地区は新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため地区より推薦とした。

- ・大阪地区・九州地区・西中国地区・四国地区・奈良地区・和歌山地区
- ・京都地区・滋賀地区・東海地区・東京地区

(2) 昇段審査、昇格試験および研修会を実施した。

- ・内部規定に基づき昇段審査を行い合格者に段位を授与した。
- ・内部規定に基づき師範代・準師範・師範の昇格試験および研修会を実施し合格者に指導者としての資格を授与した。

① 昇段審査は内部規定に基づき、一次審査は公認団体毎に実施し、二次審査は総本部において実施し、会長が認定した。

令和2年7月1日付及び令和3年1月1日付で昇段免許状を授与した。

② 地方昇格試験および研修会(師範・準師範・師範代)を実施した。

岡山試験場 令和2年7月5日(日)

福岡試験場 令和2年7月26日(日)

広島試験場 令和2年8月2日(日)

名古屋試験場 令和2年7月19日(日)

③ 昇格試験及び研修会実施(総本部試験場)

師範 令和2年7月25日(土)

準師範 令和2年7月25日(土)

師範代 令和2年7月25日(土)

(昇格試験に合格したものには、9月1日付で東明祭において免許状を授与した。)

(3) 研修会の開催

吟詠指導力の向上の為、専門講師を招き漢詩の鑑賞・歴史・科学的発声法・作詩法・関西吟詩文化協会の吟法・指導方法などの研修を行った。

① 吟詠普及推進研修会

【公益目的1の詩歌吟詠の普及推進事業】に合わせ、以下の地区において、吟詠普及推進研修会を行った。

- ・吟詠普及推進研修会兼推薦師範講習会(総本部)

令和2年6月14日(日)・・・【新型コロナ感染防止のため中止】

推薦師範者はテーマ「指導者としての心構え」の作文提出とした。

- ・ 吟詠普及推進研修会九州地区大会
令和2年7月26日(日)・・・【新型コロナ感染防止のため中止】
- ・ 吟詠普及推進研修会岡山地区大会
令和2年8月30日(日) 142人参加(内一般会員他40人)
- ・ 吟詠普及推進研修会京滋福井地区大会
令和3年2月14日(日)・・・【令和3年6月以降に延期】
- ・ 吟詠普及推進研修会東海地区大会
令和3年2月21日(日)・・・【新型コロナ感染防止のため中止】
- ・ 吟詠普及推進研修会四国地区大会
令和3年2月23日(祝)・・・【新型コロナ感染防止のため中止】
- ・ 吟詠普及推進研修会和歌山地区大会
・・・【新型コロナ感染防止のため中止】
- ・ 吟詠普及推進研修会西中国地区大会
令和3年3月20日(祝) 249人参加 (内一般会員他70人)
- ② 指導者研修会を会場参加者に加え web 方式を併せて行った。
 - ・ 推薦師範講習会
令和2年6月14日(日)・・・【新型コロナ感染防止のため中止】
 - ・ 総本部研修会(令和3年度 師範・準師範・師範代昇格試験課題詩講習)
令和2年11月22日(日) エーリック(尼崎)
長詩6題 和歌3題 律詩8題 絶句10題
153人参加 (内 web 参加者25人)
 - ・ 新教本講習会
 - 1) 令和2年6月14日(日) 【新型コロナ感染防止のため中止】
八句詩2題 約250人参加予定
 - 2) 令和2年9月13日(日) 大東市市民会館
八句詩4題 227人参加 (内 web 参加者88人)
- ③ 吟道大学講座の開講 ・・・【新型コロナ感染防止のため中止】
 - ・ 令和3年2月6日～7日 パナソニックリゾート大阪
約150人参加予定
- ④ 新指導者養成講座「東明未来塾」の開設
漢詩鑑賞、作詩法、発声の学理、指導者の心構え、組織運営と活性化等の研修と自主性発揚の研修、中国・日本の歴史講座
 - 総本部コース
 - ・ 開催回数 4回/年
第1回:令和2年9月26日(土)、第2回:令和2年11月28日(土)
第3回:令和3年3月27日(土)、第4回:4月24日(土)に延期
・ 受講者数 45名
 - 地方コース
 - ・ 東海地区(静岡・愛知・三重含)3回/年
令和2年10月11日(日) 令和2年11月7日(土)
令和2年12月13日(日)
・ 受講者数 40名
 - ・ 四国地区(徳島・香川・高知・愛媛)2回/年(1泊2日)
・・・【新型コロナ感染防止のため中止】

令和2年8月22日(土)～23日(日)

- ⑤ 作詩講座(一般公募)を実施した。 総本部 会議室
作詩の講座を開催し、広く一般の方にも作詩を広めるとともに作詩技
量の向上を図った。
・毎月第2金曜日 午後3時～5時00分迄
年4回(前期、後期に分けて) 参加者数 延約80人
- ⑥ 作詩添削を実施した。
一般の方々にも呼びかけ、自作の漢詩を作詩の専門家による添削な
どの指導を行うとともに自作漢詩を機関誌に掲載し、作詩技量向上
を図った。
4回/年 予定応募作品数 約120作品
- ⑦ 漢詩鑑賞講座(一般公募)を開講した。 総本部 会議室
漢詩鑑賞の講座を開催し、漢詩・作者と歴史背景から広く一般の方
にも漢詩を広めようとするもの。
・2カ月1回(年6回) 午後2時～4時00分迄
参加者数 延 400人

(4) 研究会

- ・指導局指導部会
- ・指導局教養部会
- ・指導局教本作成部会
- ・秀詠グループ吟詠研究会

時代に受け入れられる吟詠を目指し、吟詠法の研究を行うとともに、新しい
教本を発行する。又、各種研修会の内容の充実を図り、吟詠芸術を探求する
などの研究を行った。

(5) 部会・委員会

- ・広報局広報部
- ・広報局ホームページ委員会

不特定多数の人に対して、広く、吟詠に関する調査・研究の成果および
吟詠普及活動のための公報活動を行った。

- ・広報局企画部

吟詠普及推進事業の企画運営を行うとともに、将来の課題に対し、対策案
の提言を行なった。

- ・青年部

不特定多数の人及び青年層に対して広く吟詠普及活動を行った。

- ・作詩添削委員会

会員及び不特定多数の人への吟詠普及活動をより円滑に行うため委員会を
設置した。

2. 収益事業

収益1 主として会員向けに教材等を頒布する事業

吟詠普及活動の一助として参考図書・CD・DVD等の頒布を行った。

(1) 参考図書販売を行った。

- ① 誰にでもできる漢詩の作り方(太刀掛呂山著)

- ② 作詩便覧 宮崎東明編
- ③ 作者便覧 日本編 関西吟詩文化協会発行
- 中国編 関西吟詩文化協会発行

- (2) CDの頒布を行った。
- ・和漢名詩選 (六) 他 既存 CD の頒布
 - ・本部指導者研修会収録編 (新作) 新作 CD の頒布
- DVD の頒布を行った。
- ・「昔ばなし 一寸法師」他 既存 DVD の頒布。

収益 2 吟詠の技量審査による段位認定並びに資格認定合格者に認定証(許證)を

交付する事業

- (1) 昇段・昇格認定証(許證)交付事業
- ① 昇段免状授与
 - 所定の昇段審査に合格した者に対し免状を授与した。
 - 令和 2 年 7 月 1 日付及び令和 3 年 1 月 1 日付
 - ② 昇格資格者への免状の授与 (師範代・準師範・師範)
 - 所定の昇格試験に合格した者に対し免状を授与した。
 - 令和 2 年 9 月 1 日付
 - ③ 特別昇格 (上師範・高師範・総師範)
 - 推薦による昇格申請に基づき審査し特別昇格称号を授与した。
 - 令和 2 年 9 月 2 日付
- (2) 記章の販売
- 「師範・準師範・師範代・会員」バッチの販売を行った。

3. 相互扶助事業

その他 1 宮崎東明回忌法要及び詩吟関係の功労者等顕彰事業

- (1) 東明祭の開催と功労者顕彰を行った。 令和 2 年 9 月 13 日 (日)
- ① 会員増員表彰 (個人、支部、会) 令和 2 年 9 月 1 日付
 - ② 慶寿祝、成人祝 令和 2 年 7 月 1 日付
 - ③ 功労者等顕彰の実施 令和 2 年 9 月 1 日付
- 細則第 1 号 2 2 条の顕彰基準に定める称号を授与。
- | | |
|-------|---------------|
| 吟功章 | (上師範、高師範、総師範) |
| 特別吟功章 | (宗 範) |
| 特別功労賞 | (宗 帥) |

4. その他の事業 (法人会計事業)

当協会の事業目的達成を円滑に推進する事業

- (1) 定時総会の開催 令和 2 年 6 月 6 日 (土) (書面による議決権行使)

(2) 各種会議

- ① 総会
- ② 役員会(正副会長会、理事会、)
- ③ 元老・相談役・参与・代議員会議
- ④ 局部会 (管理局総務部・管理局財務部)
- ⑤ 東明未来塾運営委員会
- ⑥ 創立 90 周年準備委員会 (記念誌作成準備委員会)
- ⑦ その他特別検討委員会